

④ 畜産

プロジェクト 多様なニーズに対応した牛肉生産

目標

- ・肉用種の繁殖雌牛の飼育頭数 R4：13,600頭 → R10：15,200頭
- ・子牛市場価格（全国平均）との比較
R4：去勢 -1.7% (▲12千円) → R10：去勢 +1.7%
めす -4.0% (▲23千円) 　　　　　めす 0%

挑戦する内容

- ・高能力雌牛の県内定着促進による繁殖基盤の強化
- ・脂肪の質や形状に優れた食味性の高い牛肉生産
- ・全国和牛能力共進会での上位入賞
- ・日本短角種の持続可能な生産体制の確立
- ・輸出に対応できる高品質な黒毛和種生産に取り組む担い手の育成

関係者の声
＝対話

- ・優秀な雌牛を県内保留し、繁殖基盤を強化する取組を検討してほしい（生産者）
- ・ゲノム解析技術を活用した和牛改良を進めてほしい（和牛改良組合、農政審議会）
- ・肉用牛の遺伝的能力の把握と活用を推進してほしい（生産者）
- ・全国和牛能力共進会への支援を強化してほしい（関係団体、農政審議会）
- ・日本短角種の振興も和牛の1つの柱として整理し進めてほしい（関係団体）

役割分担

- ・改良組合、農協：遺伝的能力に着目した生産管理指導
- ・産技センター：ゲノミック評価の活用及び脂肪酸組成等を考慮した種雄牛の造成
- ・県：現地指導、補助事業の実施、関係団体間の調整

変革後の姿

- ・生産子牛の資質が改善し、市場評価の向上により、販売価格が上昇
- ・脂肪の質等に優れる高品質な牛肉生産により、枝肉販売価格が上昇
- ・黒毛和種と日本短角種の2つの県産和牛ブランドの安定供給体制が確立

令和7年度計画

挑戦する内容

- 高能力雌牛の県内定着促進による繁殖基盤の強化
 - ・雌子牛のゲノミック解析の推進及びゲノム高評価繁殖素牛の導入促進（補助）
 - ・子牛市場におけるゲノミック評価結果の公表体制の構築
 - ・持続可能な経営継続のための所得向上プログラムを活用した巡回指導を実施
- 脂肪の質や形状に優れた食味性の高い牛肉生産
 - ・県産牛肉の脂肪の質・形状のデータ集積・分析（産技センター）
 - ・早期肥育と脂肪の質・形状を両立した牛肉生産に向けた試験（産技センター）
 - ・牛肉輸出拡大に向けた和牛の生産指導の推進
- 全国和牛能力共進会での上位入賞
 - ・計画的な交配及び出品候補牛の選抜に対するサポート
 - ・出生した出品候補牛に対する生産管理指導の実施（チームによる巡回指導）
 - ・海上輸送負担軽減に向けた輸送試験の実施
- 日本短角種の持続可能な生産体制の確立
 - ・県内一丸となった広域生産体制の確立に向けた対話の実施



子牛市場でのゲノミック評価公表



日本短角種生産者との対話

対話

- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・和牛改良組合を参集した会議を開催し、今後の和牛改良に係る意見交換を実施（2回）
- ・全国和牛能力共進会の出品関係団体を参集した会議（全和青森県支部主催）において、出品候補牛の生産指導體制や大会本番までの取組方針等を協議（2回）
- ・県内の日本短角種生産者と今後の生産体制のあり方に関する意見交換を実施（2回）
- ・巡回指導を通じ、経営安定に必要な支援等について意見交換を実施（通年）